

(別記)

令和5年度玉城町農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

玉城町では、水田地帯の一部において、麦の団地化やブロックローテーションが定着している地域もあるが、稲作への依存度が高く、生産意欲も非常に高い。農家の8割近くが第2種兼業農家であり、農業従事者の高齢化や機械施設の更新をきっかけとして担い手への集積が進みつつあり、イチゴ、花き、花苗等での施設園芸、菊、果樹等の栽培が盛んで、水稲との複合経営となっている。

一方、現在の担い手によるさらなる規模拡大は労働力確保や施設投資の点から難しく、今後、兼業農家のリタイアが急速に進むことが予想される中、当町の水田農業を維持していくためには、新たな担い手の確保・育成を進めるとともに、これらの担い手の経営安定に向けて、これまでの米麦等を中心とした輪作体系に加えて、高収益作物等を取り入れた営農体系の構築を進めていくことが必要である。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

玉城町では、産地強化計画に沿ってイチゴ、キャベツ、カボチャ、青ネギ、ブロッコリーの振興が進められるとともに、近年、サツマイモも栽培面積が拡大している。

これらの高収益作物について、農家所得の向上を目指して関係機関との連携のもと、産地化・ブランド化の実現に向けた取組みを進める。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

水田農業の担い手等を対象に、産地強化計画の品目である露地野菜の作付を推進し、一定の成果はあるものの、価格が安定しないことや水稲等との作業時期の重複で十分な栽培管理ができず収量が安定しないことなどから、安定継続的に栽培されるまでには至っておらず、直ちに畑地化を進めることは難しい。

しかし、今後の町内農業の維持には、水稲偏重の作付体系を見直していく必要があることから、作付状況の現地確認等の機会を捉えて畑地化を検討できるほ場を確認し、高収益作物の作付けが固定化している水田について、畑地化の取組を働きかけていく。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

需給と価格の安定を図るため、米の需要に見合った計画的生産を推進するとともに、売れる米づくりとして、担い手等の一定規模の農業者に対して業務用米品種も推進していく。

(2) 備蓄米

加工用米とともに関係機関と連携をとり生産の推進を検討していく。

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

担い手農家を中心に、米価下落の影響及び作期分散のため、湿田を中心に多収品種や耐倒伏性品種による生産を推進する。また、畜産農家との連携によるわら利用（耕畜連携）を推進し、わら利用加算を有効に活用して面積拡大に向けて推進を継続していく。

イ 米粉用米

飼料用米とともに、米価下落の影響及び作期分散のため、取組みを推進していく。

ウ 新市場開拓米

該当なし

エ WCS 用稲

該当なし

オ 加工用米

主食用米と同じ機械、施設で取組めるため、米の需給調整の品目として取組みを進める。

(4) 麦、大豆、飼料作物

麦については、その生産性の向上を図り、担い手の収益を確保することが重要であることから、単収や作業効率の向上に向けて、団地化、土壌改良への取組を進める。

また、担い手の経営安定の観点から、大豆や高収益作物も含めた組合せによる水田の高度利用を進める。

(5) そば、なばな

該当なし

(6) 地力増進作物

露地野菜等の連作障害を防ぐため、地力増進作物の推進を行っていく。

(7) 高収益作物

産地強化計画が策定された品目や生産拡大が進んでいる野菜について、新規就農者の確保や二毛作の取組み推進も含めた面積拡大を進める。

また、花き・花木、果樹及びしめ縄用の加工用青刈り稲の産地育成に努める。

《産地強化・振興野菜》キャベツ、カボチャ、青ネギ、ブロッコリーは、産地強化計画に基づき取組みを進めている。また、さつまいも、トウモロコシは産地化を目指し面積拡大を進めており、定植や収穫等の省力機械化体系の導入促進により作付拡大と定着化を図る。

《いちご》特産品として定着しているが、生産者の高齢化による廃業で作付面積は減少傾向にあるため、新規就農者の確保や規模拡大、施設の改良、実需者ニーズに対応した新品種の導入等を進め、産地強化を図る。

《その他野菜》地域振興作物を除く野菜については、産直施設等での積極的な販売をめざし、消費者の需要に応じた品目の作付を展開する。

《花き等》露地栽培では菊、施設栽培では多品目の花苗や野菜苗の生産に取組む。

《加工用青刈り稲（しめ縄用）》町の重要な産業の一つである「しめ縄」は、農家の所得向上の一環としても活用されており、その原料となる加工用青刈り稲については、品質及び生産数量の保持を目指す。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和5年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	698.0		700.0		700.0	
備蓄米	214.0		0.0		0.0	
飼料用米	50.1		58.0		58.0	
米粉用米	0.0		0.0		0.0	
新市場開拓用米	0.0		0.0		0.0	
WCS用稲	0.0		0.0		0.0	
加工用米	0.0		0.0		0.0	
麦	142.5	0.0	157.0	0.0	157.0	0.0
大豆	11.2	9.34	10.0	10.0	10.0	10.0
飼料作物	0.0		0.0		0.0	
・トウモロコシ	0.0		0.0		0.0	
そば	0.0		0.0		0.0	
なたね	0.0		0.0		0.0	
地力増進作物	0.0		5.5		5.5	
高収益作物	56.6	12.6	68.9	15.1	68.9	15.1
・野菜	48.0	12.6	60.0	15.0	60.0	15.0
・花き・花木	3.3		2.8	0.1	2.8	0.1
・果樹	0.0		0.1		0.1	
・しめ縄用青刈り稲	5.3		6.0		6.0	
その他	0.0		0.0		0.0	
畑地化			1.97		1.97	

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	野菜 果樹 花き・花木	野菜等生産支援助成（基幹作）	作付面積の拡大	（4年度） 1,018a	（5年度） 1,300a
				0a	10a
				251a	270a
2	野菜 花き・花木	野菜等生産支援助成（二毛作）	作付面積の拡大	（4年度） 35a	（5年度） 50a
				0a	10a
3	イチゴ サツマイモ トウモロコシ	地域振興野菜支援助成（基幹作）	作付面積の拡大	（4年度） 428a	（5年度） 430a
				385a	500a
				539a	700a
4	キャベツ カボチャ 青ネギ ブロッコリー	産地強化支援助成（基幹作）	作付面積の拡大	（4年度） 340a	（5年度） 400a
				377a	400a
				139a	150a
				467a	480a
4	キャベツ カボチャ 青ネギ ブロッコリー	産地強化支援助成（二毛作）	作付面積の拡大	（4年度） 192a	（5年度） 250a
				0a	20a
				0a	30a
				1,039a	1,100a
5	麦（基幹作）	麦団地化助成	作付面積の拡大	（4年度） 3,574a	（5年度） 6,600a
6	大豆（二毛作）	大豆産地化（規模拡大）助成	作付面積の拡大	（4年度） 898a	（5年度） 1,000a
7	飼料用米（耐倒伏性品種）	飼料用米生産性向上助成	作付面積の拡大	（4年度） 4,783a	（5年度） 5,000a
8	飼料用米	わら利用（耕畜連携）取組助成	取組面積の拡大	（4年度） 1,251a	（5年度） 1,400a
9	加工用青刈り稲（しめ縄用）（基幹作）	加工用青刈り稲（しめ縄用）支援助成	作付面積の拡大	（4年度） 526a	（5年度） 600a
10	小麦	小麦収量増大支援助成 【PH測定＋石灰資材の散布】	散布面積の拡大 実施率の上昇 単収の改善	（4年度） 13,693a	（5年度） 13,900a
				98%	89%
				259kg/10a	330kg/10a
11	小麦	小麦収量増大支援助成 【堆肥散布の実施】	散布面積の拡大 実施率の上昇 単収の改善	（4年度） 12,980a	（5年度） 13,900a
				93%	89%
				259kg/10a	330kg/10a
12	ヘアリーベッチ ソルガム レンゲ	地力増進作物取組助成	作付面積の拡大	（4年度） 0a	（5年度） 550a

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:三重県

協議会名:玉城町農業再生協議会

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	野菜等生産支援助成(基幹作)	1	3,000	野菜、果樹(新植から3年以内)、花き、花木 ※ 詳細は別紙 ※ 野菜、果樹、花き、花木には種苗類を含む。 ※ すべて基幹作物	出荷販売していること。
2	野菜等生産支援助成(二毛作)	2	3,000	野菜、花き、花木(詳細は別紙)	出荷販売していること。
3	地域振興野菜支援助成(基幹作)	1	10,000	イチゴ、サツマイモ、トウモロコシ	出荷販売していること。
4	産地強化支援助成(基幹作) □0a以上で面積拡大した場合	1	2,000	キャベツ、カボチャ、青ネギ、ブロッコリー	出荷販売していること。
4	産地強化支援助成(基幹作) □0a以上で面積拡大しなかった場合	1	7,000	キャベツ、カボチャ、青ネギ、ブロッコリー	出荷販売していること。
4	産地強化支援助成(基幹作) □0a未満の場合	1	12,000	キャベツ、カボチャ、青ネギ、ブロッコリー	出荷販売していること。
4	産地強化支援助成(二毛作) □0a以上で面積拡大した場合	2	2,000	キャベツ、カボチャ、青ネギ、ブロッコリー	出荷販売していること。
4	産地強化支援助成(二毛作) □0a以上で面積拡大しなかった場合	2	7,000	キャベツ、カボチャ、青ネギ、ブロッコリー	出荷販売していること。
4	産地強化支援助成(二毛作) □0a未満の場合	2	12,000	キャベツ、カボチャ、青ネギ、ブロッコリー	出荷販売していること。
5	麦団地化助成	1	4,500	麦(基幹作物)	出荷販売していること。 2 ha以上の団地化していること。
6	大豆産地化(規模拡大)助成	2	7,000	大豆(二毛作)	出荷販売していること。 2 ha以上の団地化していること。
7	飼料用米生産性向上助成	1	650 円/60kg	飼料用米(耐倒伏性品種:ほしじるし、どんとこい)	出荷販売されていること。 2 ha以上の団地化していること。
8	わら利用(耕畜連携)取組助成	3	10,000	飼料用米	新規需要米取組計画の認定を受けて、飼料用米を出荷販売していること。飼料用米の稲わらを利用供給協定に基づき出荷販売していること。
9	加工用青刈り稲(しめ縄用)支援助成	1	8,000	加工用青刈り稲(しめ縄用)(基幹作物)	新規需要米取組計画の認定を受けて、出荷販売していること。
10	小麦収量増大支援助成 【PH測定+石灰資材の散布】	1	800	小麦(基幹作物)	出荷・販売していること。 「令和5年産麦に対する技術取組面積調査表」を提出していること。 以下の「追加の要件」を実施すること。 ①地域で一般的な麦栽培層などを参考に、土壌診断(PH測定)に基づく石灰資材の散布を行うこと ②①の石灰散布は、土壌診断(PH測定)結果に基づき行うこと ただし、この場合の土壌診断は、石灰散布する3圃場(3筆)毎に1か所行うこと
11	小麦収量増大支援助成 【堆肥散布の実施】	1	800	小麦(基幹作物)	出荷・販売していること。 「令和5年産麦に対する技術取組面積調査表」を提出していること。 以下の「追加の要件」を1つ以上実施すること。ただし、複数の技術に取り組んだ場合も重複交付は行わない。 ①牛糞堆肥2t/10aまたは豚糞堆肥0.5t/10a以上を施用すること。 ②鶏糞の施用量は300kg/10a以上であること。
12	地力増進作物取組助成	1	20,000	ヘアリーベッチ、ソルガム、レンゲ	二毛作、次年度の戦略作物、高収益作物等の作付けに向け地力増進作物を作付け、すき込みを行うこと。

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的な要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

別紙

令和5年度 産地交付金 野菜等生産支援(基幹・二毛作) 対象品目(玉城町)

<p>野菜</p>	<p>アスパラガス、イガムラサキ、イセイモ、インゲン(青さや含む)、ウリ(しろ・まくわ・にが)、エダマメ、エンドウ(グリーンピース、青さや含む)、オクラ、カブ、カリフラワー、キヌサヤ、キュウリ、クレソン、クワイ、ケール、小松菜、コモチカンラン(メキャベツ)、ゴボウ、サトイモ、シソ、ジャガイモ、シュンギク、食用菊、ショウガ、ジネンジョ、スイカ、ズイキ、セリ、セルリー、ダイコン、タカナ、タマネギ、チンゲンサイ、漬け菜類(アサマコナ等)、トウガラシ(シトウ含む)、トマト、トウモロコシ(未成熟)、ナガイモ、ナス、菜っ葉、ナバナ、ニラ、ニンジン、ニンニク、白ネギ)、ハクサイ、葉ショウガ、畑ワサビ、パセリ、ヒノナ、ピーマン、フキ、ホウレンソウ、ソラマメ(未成熟)、ミズナ、ミツバ、ミヨウガ、メロン、モロヘイヤ、レタス、レンコン、マコモ、野菜苗</p>
<p>果樹</p>	<p>イチジク、オウトウ、料理(香酸)カンキツ、ギンナン、クワ、ミカン・レモン・ユズ(中晩柑含む)、モモ、ウメ、カキ、キウイフルーツ、クリ、ナシ(西洋梨含む)、ビワ、ブドウ・ヤマブドウ、ブルーベリー、リンゴ、アテモヤ・ポポー、果樹苗</p>
<p>花き</p>	<p>アガパンサス(ムラサキクンシラン)、アスター、アスパラ(切葉用)、イキシア、オオツムギ、オーニソガラム、ガーベラ、カーネーション、カラー、キク類、キンギョソウ、グラジオラス、サンゴミズキ、シクラメン、シャクヤク、スイートピー、ストック、スターチス、セントポーリア、ダリア、ツルムラサキ、トルコギキョウ、ハナショウブ、ハナモモ、葉牡丹、バラ、ププレウム、フリージア、ホオズキ、ラン類、切花用母樹、観葉植物(ヘデラ等)、鉢花(ゼラニウム等)、花苗(パンジー等)、球根花き(チューリップ、マンジュシャゲ等)</p>
<p>花木</p>	<p>アジサイ、アベリア、イチョウ、カエデ、カシ、カナメ、カリン、キャラボク、クス、グランドカバー(ヒメイワダレソウ)、ケヤキ、サクラ、サカキ、サツキ、サンゴミズキ、シキミ(シキビ)、シャクナゲ、スギ、セスバニア、ツゲ、ツツジ、ツバキ、ナンテン、ハナミズキ、ヒノキ、マキ、マツ、モクセイ、モクレン、モッコク、モミジ、ヤマモモ、リュウノヒゲ(タマリユウ)、コニファー、低木(常緑・落葉)、中高木(常緑・落葉)、花木苗</p>